

多元化合物の新規な物性と応用

2018 年 3 月 17 日(土) 13:00~18:00

■シンポジウム企画趣旨

本シンポジウムを企画・申請する多元系化合物・太陽電池研究会の研究対象である多元系機能材料は材料設計自由度の観点から、蛍光材料、熱電材料、磁性体、強誘電体、太陽電池材料など広範囲の分野で応用が検討されてきました。これらの材料から今回は「光機能材料」と「熱電材料」について最近注目されている多元化合物材料の新たに発見された物性やその原理、さらにはその応用について議論します。

本シンポジウムにより、多元系化合物であるからこそ出現する特徴的な物性についての理解が深まり、多元系の特徴を生かしたデバイス開発の方向性が明確になることを期待しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

■プログラム(敬称略,登壇者のみ記載) ◆招待講演(30分)

◆六方晶 BN の薄膜成長とその深紫外発光評価

原 和彦(静岡大)

◆蛍光材料における結晶欠陥を赤外光で探る

北浦 守(山形大)

◆II-IV-V₂系化合物半導体の太陽電池への応用

野瀬嘉太郎(京都大)

◆多元系化合物半導体を用いた太陽光-水素エネルギー変換

池田 茂(甲南大)

◆多元欠陥化学によるMg₃Sb₂系熱電変換材料の設計

玉置洋正(パナソニック)

◆コンビナトリアル手法を用いた多元系熱電材料の最適化

山本 淳(産総研)

世話人: 脇田和樹(千葉工業大学)、米田 稔(岡山理科大学)、荒木秀明(長岡工業高等専門学校)
お問い合わせなどは kazuki.wakita@it-chiba.ac.jp (脇田)までお願いします。
多元系化合物・太陽電池研究会 Homepage: <http://annex.jsap.or.jp/tmc/>